

2020年9月30日

各 位

会 社 名 株式会社オウケイウェイヴ  
 代表者名 代表取締役社長 福田 道夫  
 (コード：3808、名証セントレックス)  
 問合せ先 取締役 野崎 正徳  
 (TEL. 03-6841-7672)

**(訂正・数値データ訂正)「2020年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について**

当社は、2020年8月31日に開示しました「2020年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正をいたしましたのでお知らせします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。なお、訂正箇所には、下線    を付しております

## 記

## 1. 訂正の理由

決算短信の開示後、再計算したところ集計に誤りがあったため、2020年6月期決算短信を修正するものです。

## 2. 訂正の内容

・サマリー情報

## 【訂正前】

## 1. 2020年6月期の連結業績(2019年7月1日～2020年6月30日)

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	734	<u>△1,767</u>	257	883
2019年6月期	82	△3,597	3,629	1,658

## 【訂正後】

## 1. 2020年6月期の連結業績(2019年7月1日～2020年6月30日)

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	864	<u>△1,895</u>	255	883
2019年6月期	82	△3,597	3,629	1,658

## ・添付資料3ページ 当期のキャッシュ・フローの概況

## 【訂正前】

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度と比べ774,356千円減少し、883,966千円となりました。また、各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純損失ではあるものの、主に売上債権の増減額、暗号資産の増減額及び投資有価証券評価損により、734,939千円の収入となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に投資有価証券、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出等があったことにより、1,762,674千円の支出となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に株式の発行による収入により、257,747千円の収入となりました。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期
自己資本比率	76.6	80.0	80.2	29.2	17.2
時価ベースの自己資本比率	268.6	239.2	868.1	142.9	77.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.1	0.2	0.1	38.9	<u>4.1</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ	280.5	227.2	1,270.1	20.4	<u>144.0</u>

## 【訂正後】

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度と比べ774,356千円減少し、883,966千円となりました。また、各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純損失ではあるものの、主に売上債権の増減額、暗号資産の増減額、減損損失及び投資有価証券評価損により、864,939千円の収入となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に投資有価証券、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出等があったことにより、1,895,206千円の支出となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に株式の発行による収入により、255,278千円の収入となりました。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期
自己資本比率	76.6	80.0	80.2	29.2	17.2
時価ベースの自己資本比率	268.6	239.2	868.1	142.9	77.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.1	0.2	0.1	38.9	<u>3.5</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ	280.5	227.2	1,270.1	20.4	<u>169.5</u>

・添付資料12・13ページ 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	825,809	△2,959,564
減価償却費	171,554	363,352
のれん償却額	77,346	148,136
株式報酬費用	2,286	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	30,774	448,694
受取利息及び受取配当金	△3,529	△618
支払利息	3,871	4,849
為替差損益(△は益)	6,326	165
新株予約権戻入益	△302	△2,286
資産除去債務戻入益	—	△22,562
保険戻戻金	—	△11,798
固定資産除却損	823	24,263
減損損失	19,730	792,251
移転関連費用	—	26,635
投資有価証券評価損益(△は益)	86,001	1,450,690
投資有価証券売却損益(△は益)	△28,490	△52,387
関係会社株式売却益	—	△268,666
売上債権の増減額(△は増加)	△1,066,069	1,008,982
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,735	10,579
暗号資産の増減額(△は増加)	—	861,200
前渡金の増減額(△は増加)	27,740	—
前払費用の増減額(△は増加)	4,721	△6,739
未収入金の増減額(△は増加)	△8,898	94,235
未収収益の増減額(△は増加)	△6,569	3,509
仕入債務の増減額(△は減少)	59,914	△41,241
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△55,795	△104,379
未払消費税等の増減額(△は減少)	14,347	△9,535
前受金の増減額(△は減少)	3,386	27,059
預り金の増減額(△は減少)	8,335	△14,206
前受収益の増減額(△は減少)	—	△61,902
トレーディング商品の増減額(△は増加)	△13,840	4,028
短期差入保証金の増減額(△は増加)	△128,101	△73,208
支払差金勘定の増減額(△は増加)	23,975	△73,080
預託金の増減額(△は増加)	△95,000	△168,592
預り金及び受入保証金の増減額(△は減少)	177,965	252,065
金融商品取引責任準備金の増減額(△は減少)	△279	480
商品取引責任準備金の増減額(△は減少)	△1,407	4,565
顧客からの預り金の増減額(△は減少)	—	△54,773
顧客からの預り暗号資産(負債)の増減額(△は減少)	—	△795,340
その他	48,525	△59,784
小計	189,889	745,077

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
利息及び配当金の受取額	3,529	107
利息の支払額	△4,031	△5,103
法人税等の支払額	△113,005	△24,240
法人税等の還付額	5,995	19,098
営業活動によるキャッシュ・フロー	82,375	734,939
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,666	△200,000
有形固定資産の取得による支出	△93,496	△229,002
有形固定資産の除却による支出	△510	44,200
有形固定資産の売却による収入	—	△580
無形固定資産の取得による支出	△2,452,924	△107,306
投資有価証券の取得による支出	△184,926	△1,530,542
投資有価証券の売却による収入	34,676	237,848
関係会社株式の取得による支出	—	△130,000
短期貸付けによる支出	—	△160,800
短期貸付金の回収による収入	60,000	—
長期貸付けによる支出	△215,000	—
長期貸付金の回収による収入	2,347	801
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	107,732	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△247,356	△2,468
連結の範囲の変更を伴う子会社への出資による支出	△600,974	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	417,141
差入保証金の差入による支出	△1,969	△164,953
差入保証金の回収による収入	—	86,761
保険積立金の積立による支出	△2,135	△2,135
保険積立金の解約による収入	—	11,798
事業譲受による支出	—	△38,436
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,597,203	△1,767,674
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	966,000	450,000
短期借入金の返済による支出	△566,000	△454,959
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△17,400	△25,850
株式の発行による収入	538,717	163,020
非支配株主からの払込みによる収入	—	49,145
新株予約権の発行による収入	30,752	4,282
新株予約権の買入消却による支出	△7,544	△5,448
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	4,999,969	2,658,313
転換社債型新株予約権付社債の買入消却による支出	△2,249,989	△2,658,314
配当金の支払額	△64,816	△22,443
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,629,689	257,747
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35,240	629
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	79,622	△774,356
現金及び現金同等物の期首残高	1,578,700	1,658,322
現金及び現金同等物の期末残高	1,658,322	883,966

## 【訂正後】

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	825,809	△2,959,564
減価償却費	171,554	363,352
のれん償却額	77,346	148,136
株式報酬費用	2,286	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	30,774	448,694
受取利息及び受取配当金	△3,529	△618
支払利息	3,871	4,849
為替差損益(△は益)	6,326	165
新株予約権戻入益	△302	△2,286
資産除去債務戻入益	—	△22,562
保険返戻金	—	△11,798
固定資産除却損	823	24,263
減損損失	19,730	792,251
移転関連費用	—	26,635
投資有価証券評価損益(△は益)	86,001	1,450,690
投資有価証券売却損益(△は益)	△28,490	△52,387
関係会社株式売却益	—	△268,666
売上債権の増減額(△は増加)	△1,066,069	1,008,982
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,735	10,579
暗号資産の増減額(△は増加)	—	861,200
前渡金の増減額(△は増加)	27,740	—
前払費用の増減額(△は増加)	4,721	△6,739
未収入金の増減額(△は増加)	△8,898	94,235
未収収益の増減額(△は増加)	△6,569	3,509
仕入債務の増減額(△は減少)	59,914	△41,241
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△55,795	25,620
未払消費税等の増減額(△は減少)	14,347	△9,535
前受金の増減額(△は減少)	3,386	27,059
預り金の増減額(△は減少)	8,335	△14,206
前受収益の増減額(△は減少)	—	△61,902
トレーディング商品の増減額(△は増加)	△13,840	4,028
短期差入保証金の増減額(△は増加)	△128,101	△73,208
支払差金勘定の増減額(△は増加)	23,975	△73,080
預託金の増減額(△は増加)	△95,000	△168,592
預り金及び受入保証金の増減額(△は減少)	177,965	252,065
金融商品取引責任準備金の増減額(△は減少)	△279	480
商品取引責任準備金の増減額(△は減少)	△1,407	4,565
顧客からの預り金の増減額(△は減少)	—	△54,773
顧客からの預り暗号資産(負債)の増減額(△は減少)	—	△795,340
その他	48,525	△59,784
小計	189,889	875,077

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
利息及び配当金の受取額	3,529	107
利息の支払額	△4,031	△5,103
法人税等の支払額	△113,005	△24,240
法人税等の還付額	5,995	19,098
営業活動によるキャッシュ・フロー	82,375	864,939
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,666	△200,000
有形固定資産の取得による支出	△93,496	△229,002
有形固定資産の除却による支出	△510	△580
有形固定資産の売却による収入	—	44,200
無形固定資産の取得による支出	△2,452,924	△107,306
投資有価証券の取得による支出	△184,926	△1,530,542
投資有価証券の売却による収入	34,676	237,848
関係会社株式の取得による支出	—	△260,000
短期貸付けによる支出	—	△160,800
短期貸付金の回収による収入	60,000	—
長期貸付けによる支出	△215,000	—
長期貸付金の回収による収入	2,347	801
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	107,732	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△247,356	—
連結の範囲の変更を伴う子会社への出資による支出	△600,974	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	417,141
差入保証金の差入による支出	△1,969	△164,953
差入保証金の回収による収入	—	86,761
保険積立金の積立による支出	△2,135	△2,135
保険積立金の解約による収入	—	11,798
事業譲受による支出	—	△38,436
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,597,203	△1,895,206
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	966,000	450,000
短期借入金の返済による支出	△566,000	△454,959
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△17,400	△25,850
株式の発行による収入	538,717	163,020
非支配株主からの払込みによる収入	—	49,145
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△2,468
新株予約権の発行による収入	30,752	4,282
新株予約権の買入消却による支出	△7,544	△5,448
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	4,999,969	2,658,313
転換社債型新株予約権付社債の買入消却による支出	△2,249,989	△2,658,314
配当金の支払額	△64,816	△22,443
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,629,689	255,278
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35,240	631
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	79,622	△774,356
現金及び現金同等物の期首残高	1,578,700	1,658,322
現金及び現金同等物の期末残高	1,658,322	883,966

以 上



## 2020年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月31日

上場会社名 株式会社オウケイウェイヴ 上場取引所 名  
 コード番号 3808 URL <https://www.okwave.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)福田 道夫  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)野崎 正徳 (TEL)03(6841)7672  
 定時株主総会開催予定日 2020年9月29日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2020年9月30日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期の連結業績 (2019年7月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	4,795	△2.0	△926	—	△996	—	△2,952	—
2019年6月期	4,892	29.2	1,071	△11.9	901	△24.5	629	△41.3
(注) 包括利益	2020年6月期 △3,029 百万円 (—%)		2019年6月期 650 百万円 (△39.3%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	△323 55	—	△126.3	△10.9	△19.3
2019年6月期	70 44	69 73	20.0	11.4	21.9
(参考) 持分法投資損益	2020年6月期 — 百万円		2019年6月期 — 百万円		

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	5,671	1,008	17.2	102 62
2019年6月期	12,668	3,774	29.2	407 57
(参考) 自己資本	2020年6月期 976 百万円		2019年6月期 3,697 百万円	

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	864	△1,895	255	883
2019年6月期	82	△3,597	3,629	1,658

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年6月期	—	0 00	—	2 50	2 50	22	3.5	0.9
2020年6月期	—	0 00	—	0 00	0 00	—	—	—
2021年6月期 (予想)	—	0 00	—	0 00	0 00	—	—	—

### 3. 2021年6月期の連結業績予想 (2020年7月1日～2021年6月30日)

2021年6月期の連結業績予想において、グループ・事業再編等を行い、財務基盤の改善を図ることから、現時点での業績予想の見通しが不透明となっているため開示しておりません。

(詳細は、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。)



※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
 新規 1社（社名）  
 除外 2社（社名）OKプレミア証券株式会社、株式会社ブリックス

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期	9,519,918株	2019年6月期	9,073,300株
② 期末自己株式数	2020年6月期	86株	2019年6月期	86株
③ 期中平均株式数	2020年6月期	9,124,500株	2019年6月期	8,935,553株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年6月期の個別業績（2019年7月1日～2020年6月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	2,162	△12.1	△586	—	320	△36.0	△2,389	—
2019年6月期	2,461	44.1	300	321.5	499	699.0	387	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期	△261 85	—
2019年6月期	43 37	42 93

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年6月期	4,263		177		3.7	16 44		
2019年6月期	6,264		2,391		37.8	260 78		

(参考) 自己資本 2020年6月期 156百万円 2019年6月期 2,366百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(その他の特記事項)

当社は、2020年9月2日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	19

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### ① 全般的概況

当連結会計年度（2019年7月1日～2020年6月30日）において、ソリューション事業やインバウンド・ソリューション事業においては、前期に引き続きマーケットにおける需要の高まりなどもあり順調に推移いたしました。一方、フィンテック事業においては、前期まで受託していた大型案件終了の影響を埋めるには至らず、また子会社の赤字や償却負担などが大きく、厳しい状況となっております。

また、日本国内の社会環境において2020年3月頃から大きな影響を及ぼしているいわゆる新型コロナウイルスについて、ソリューション事業における商談が停滞するなど、主に新規の顧客獲得における影響が出ておりますが、収益構造としてはサブスクリプションのビジネスモデルであることから、その影響は限定的なものであります。

上記の状況に加え、保有する各種資産において複数の減損損失を計上したこと等もあり、今期の業績については減収減益となりました。

売上高	4,795,518千円	(前年同期比96,840千円減)
営業損失(△)	△926,613千円	(前年同期比1,997,810千円減)
経常損失(△)	△996,949千円	(前年同期比1,898,834千円減)
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△2,952,254千円	(前年同期比3,581,692千円減)

#### ② 事業別の概況

「3. (5) 連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報）」に記載のとおり、当連結会計年度より、報告セグメントの変更等を行っております。

以下の前期比較については、前期の数値を変更後の新セグメントに組み替えて表示しております。

旧セグメント		新セグメント	
コンシューマー・サービス事業	OKWAVE(Q&Aサイト)、OKWAVE GRATICA マーケティングサポート関連	ソリューション事業	OKWAVE(Q&Aサイト)、OKWAVE GRATICA 法人向けFAQ関連サービス
エンタープライズ・ソリューション事業	法人向けFAQ関連サービス	インバウンド・ソリューション事業	24時間多言語コンタクトセンター
インバウンド・ソリューション事業	24時間多言語コンタクトセンター		
フィンテック事業	ブロックチェーン関連開発 金融商品等の販売等	フィンテック事業	ブロックチェーン関連開発 金融商品等の販売等

#### (ソリューション事業)

ソリューション事業の売上高は、主に法人向けサービス「OKBIZ.」シリーズの販売が牽引しており、同サービスについては引き続き需要が高まっていることや、安定して高水準の継続率を維持できていること、加えて当社サービスがマーケット内でも評価を受けており、導入企業からの口コミでの引き合いも増え、順調に成長を続けており売上高は2,305,410千円（前年同期比344,956千円増）、セグメント利益は583,616千円（同120,054千円増）の増収増益となりました。

#### (インバウンド・ソリューション事業)

国際的なスポーツイベント等外部環境の好況や、昨年10月に株式会社JTBグローバルアシスタンスの多言語サービス事業に係るオペレーション機能を移管したことにより、売上高は934,044千円（前年同期比87,776千円増）と伸長したものの、昨年よりも全体的に受託案件の利益率が低い案件が多くなったことや、引き続き人材開発を強化していること等からセグメント利益は162,115千円（同47,465千円減）の増収減益となりました。なお、2020年6月に、インバウンド・ソリューション事業を行っていた子会社の株式会社ブリックスの全株式を譲渡しました。

#### (フィンテック事業)

戦略的な提携と位置付けて業務受託契約を締結したビート・ホールディングス・リミテッドからの案件受託が売上、利益に貢献したものの、大口案件が業績を牽引した前期ほどには及ばず、利益面では金融子会社の収益が改善できず引き続き赤字であること等から売上高は1,556,063千円（前年同期比529,573千円減）、セグメント損失は327,277千円（同1,968,883千円減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当連結会計年度における資産残高は、主にOKプレミア証券株式会社を株式譲渡により連結対象から除外したことにより「証券業における短期差入保証金」及び「証券業における信用取引資産」等の資産が除外されたこと、ならびに「受取手形及び売掛金」、「暗号資産」、「のれん」及び「テクニカルライセンス」が減少したことにより5,671,462千円（前連結会計年度末比6,997,447千円減少）となりました。

### (負債)

当連結会計年度における負債残高は、主にOKプレミア証券株式会社を株式譲渡により連結対象から除外したことにより「証券業における受入保証金」及び「証券業における信用取引負債」等の負債が除外されたこと、ならびに「未払金及び未払費用」及び「預り暗号資産」が減少したことにより4,662,931千円（前連結会計年度末比4,231,126千円減少）となりました。

### (純資産)

当連結会計年度における純資産は、主に「資本金」及び「資本剰余金」が増加したものの、「利益剰余金」の減少により1,008,530千円（前連結会計年度末比2,766,321千円減少）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度と比べ774,356千円減少し、883,966千円となりました。また、各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純損失ではあるものの、主に売上債権の増減額、暗号資産の増減額、減損損失及び投資有価証券評価損により、864,939千円の収入となりました。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に投資有価証券、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出等があったことにより、1,895,206千円の支出となりました。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に株式の発行による収入により、255,278千円の収入となりました。

### (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期
自己資本比率	76.6	80.0	80.2	29.2	17.2
時価ベースの自己資本比率	268.6	239.2	868.1	142.9	77.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.1	0.2	0.1	38.9	3.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ	280.5	227.2	1,270.1	20.4	169.5

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

#### (4) 今後の見通し

2020年6月期においては、非常に大きな赤字決算となり、早急に財務基盤の立て直しが必要な状況となっております。また、期中に発生した元代表取締役CEOの退任や自社株式の売却等については、いわゆるコーポレート・ガバナンスに対する改善が必要な状況にあると考えております。

このような状況に対し、ステークホルダーの皆様に対しては、今後の方向性を示すべく業績予想について開示する必要性についても強く認識してはいるものの、一方で2021年6月期については、グループ再編や事業再編を進める必要があり、この状況については数値として換算することが非常に難しいことから、今期についても引き続き業績予想の開示を行っておりません。

しかしながら、上記の再編については、第2四半期までには一通りの進捗がなされることを想定しているため、第2四半期の決算発表辺りを目途に、業績予想については開示することを予定しております。

また、ソリューション事業については、新型コロナウイルスの影響も受けながらも、15%程度の売上成長を見込んでおります。

#### (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当初計画していた受託開発案件の遅延による影響から、当連結会計年度において営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上しております。当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していると認識しております。

当該重要事象等を解消するため、第三者割当てによる転換社債型新株予約権付社債の発行及び新株予約権の発行が実行されたこと、さらにフィンテック事業において当初想定した計画通りに進捗していなかったグループ会社について慎重に協議を重ねた結果、売却を決定し、また今後も計画の見直しや修正を実施しながらグループ全体の財務の健全化、収益体制の強化を推し進めております。

当社グループといたしましては、今後より一層の経営基盤の安定化に向けた各事業の経営体制の再編と利益重視の強化の施策を実行し、当該事象又は状況の解消を図ってまいります。これらを遂行することにより、継続企業の前提に関する重要事象等を解消できるものと考えており、継続企業の前提に関する不確実性は認められないものと判断しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,660,925	1,086,566
受取手形及び売掛金	1,796,425	244,576
暗号資産	1,604,977	743,777
商品及び製品	9,559	—
仕掛品	1,113	—
保管有価証券	25,433	—
証券業における預託金	276,414	—
証券業における信用取引資産	949,029	—
証券業における短期差入保証金	1,494,523	—
証券業における支払差金勘定	105,104	—
前払費用	84,026	73,016
短期貸付金	801	124,742
その他	155,011	51,161
貸倒引当金	△34,663	△752
流動資産合計	8,128,682	2,323,088
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	139,543	367,216
減価償却累計額	△113,155	△85,836
建物及び構築物（純額）	26,388	281,380
工具、器具及び備品	554,740	473,258
減価償却累計額	△451,899	△373,150
工具、器具及び備品（純額）	102,841	100,108
土地	4,000	—
その他	0	—
有形固定資産合計	133,229	381,489
無形固定資産		
特許権	10,019	10,589
商標権	8,790	11,252
ソフトウェア	117,588	168,711
ソフトウェア仮勘定	135,323	10,109
のれん	766,088	—
テクニカルライセンス	2,242,509	1,711,895
無形固定資産合計	3,280,319	1,912,558
投資その他の資産		
投資有価証券	932,566	751,013
差入保証金	160,279	177,874
長期貸付金	36,510	133,510
長期未収入金	39,690	449,911
その他	34,233	45,604
貸倒引当金	△76,602	△503,587
投資その他の資産合計	1,126,678	1,054,327
固定資産合計	4,540,227	3,348,374
資産合計	12,668,910	5,671,462

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	117,788	61,366
短期借入金	354,959	350,000
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	916,660	835,470
未払金及び未払費用	589,741	308,240
証券業における信用取引負債	949,029	—
証券業における預り金	48,308	—
証券業における受入保証金	1,778,950	—
顧客からの預り金	238,547	183,774
預り暗号資産	1,520,664	725,324
未払法人税等	159,028	158,022
未払消費税等	43,775	5,080
1年内返済予定の長期借入金	67,400	—
前受金	58,903	75,835
預り金	33,507	11,718
資産除去債務	40,000	—
その他	74,595	11,203
流動負債合計	6,991,859	2,726,037
固定負債		
長期借入金	29,900	—
転換社債型新株予約権付社債	1,833,320	1,822,843
繰延税金負債	23,668	—
資産除去債務	3,954	114,050
固定負債合計	1,890,842	1,936,894
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	1,355	—
商品取引責任準備金	10,000	—
特別法上の準備金合計	11,355	—
負債合計	8,894,058	4,662,931
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,267,726	1,395,718
資本剰余金	667,778	841,232
利益剰余金	1,774,227	△1,200,710
自己株式	△85	△85
株主資本合計	3,709,647	1,036,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,024	△2,631
為替換算調整勘定	△62,674	△56,582
その他の包括利益累計額合計	△11,650	△59,214
新株予約権	25,494	20,743
非支配株主持分	51,360	10,845
純資産合計	3,774,852	1,008,530
負債純資産合計	12,668,910	5,671,462

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,892,359	4,795,518
売上原価	1,824,985	2,294,183
売上総利益	3,067,373	2,501,334
販売費及び一般管理費	1,996,176	3,427,948
営業利益又は営業損失(△)	1,071,197	△926,613
営業外収益		
受取利息	3,529	618
受取配当金	40	—
為替差益	21,145	—
貸倒引当金戻入額	1,173	—
業務受託料	2,761	1,485
保険戻金	—	11,798
還付消費税等	—	62,739
暗号資産評価益	—	10
雑収入	3,452	12,775
営業外収益合計	32,103	89,428
営業外費用		
支払利息	3,871	4,849
貸倒引当金繰入額	—	81,199
為替差損	—	301
支払手数料	29,208	2,984
支払報酬	164,817	66,297
雑損失	3,518	4,132
営業外費用合計	201,415	159,764
経常利益又は経常損失(△)	901,884	△996,949
特別利益		
新株予約権戻入益	302	2,286
金融商品取引責任準備金戻入額	279	—
商品取引責任準備金戻入額	1,407	—
投資有価証券売却益	29,486	52,387
関係会社株式売却益	—	268,666
資産除去債務戻入益	—	22,562
特別利益合計	31,476	345,902
特別損失		
固定資産除却損	823	24,263
減損損失	19,730	792,251
投資有価証券評価損	86,001	1,450,690
社名変更費用	—	9,629
投資有価証券売却損	996	—
移転関連費用	—	26,635
金融商品取引責任準備金繰入	—	480
商品取引責任準備金繰入額	—	4,565
特別損失合計	107,552	2,308,516
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	825,809	△2,959,564
法人税、住民税及び事業税	178,634	21,955
法人税等還付税額	△5,701	—
法人税等調整額	8,453	—
法人税等合計	181,387	21,955



(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	644,422	△2,981,520
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失 (△)	14,984	△29,265
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失 (△)	629,437	△2,952,254

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	644,422	△2,981,520
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△45,018	6,092
その他有価証券評価差額金	51,332	△53,656
その他の包括利益合計	6,314	△47,563
包括利益	650,736	△3,029,083
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	635,752	△2,999,818
非支配株主に係る包括利益	14,984	△29,265

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2018年7月1日 至 2019年6月30日）

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計
当期首残高	996,368	974,042	633,025	△85	2,603,351	△17,656	△308	△17,965
当期変動額								
新株の発行	271,358	271,358			542,717			
剰余金（その他資本剰余金）の配当		△65,858			△65,858			
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）			629,437		629,437			
欠損填補		△511,763	511,763		—			
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						△45,018	51,332	6,314
当期変動額合計	271,358	△306,263	1,141,201	—	1,106,296	△45,018	51,332	6,314
当期末残高	1,267,726	667,778	1,774,227	△85	3,709,647	△62,674	51,024	△11,650

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	4,301	11,610	2,601,298
当期変動額			
新株の発行			542,717
剰余金（その他資本剰余金）の配当			△65,858
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）			629,437
欠損填補			—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	21,193	39,749	67,257
当期変動額合計	21,193	39,749	1,173,553
当期末残高	25,494	51,360	3,774,852

当連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

（単位：千円）

	株主資本					その他の包括利益累計額		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計
当期首残高	1,267,726	667,778	1,774,227	△85	3,709,647	△62,674	51,024	△11,650
当期変動額								
新株の発行	127,992	127,992			255,984			
剰余金の配当			△22,683		△22,683			
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△2,952,254		△2,952,254			
連結子会社株式の取得による持分の増減		6,611			6,611			
連結子会社の増資による持分の増減		38,849			38,849			
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						6,092	△53,656	△47,563
当期変動額合計	127,992	173,454	△2,974,937	—	△2,673,492	6,092	△53,656	△47,563
当期末残高	1,395,718	841,232	△1,200,710	△85	1,036,155	△56,582	△2,631	△59,214

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	25,494	51,360	3,774,852
当期変動額			
新株の発行			255,984
剰余金の配当			△22,683
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△2,952,254
連結子会社株式の取得による持分の増減			6,611
連結子会社の増資による持分の増減			38,849
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△4,750	△40,515	△92,828
当期変動額合計	△4,750	△40,515	△2,766,320
当期末残高	20,743	10,845	1,008,530

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	825,809	△2,959,564
減価償却費	171,554	363,352
のれん償却額	77,346	148,136
株式報酬費用	2,286	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	30,774	448,694
受取利息及び受取配当金	△3,529	△618
支払利息	3,871	4,849
為替差損益(△は益)	6,326	165
新株予約権戻入益	△302	△2,286
資産除去債務戻入益	—	△22,562
保険戻戻金	—	△11,798
固定資産除却損	823	24,263
減損損失	19,730	792,251
移転関連費用	—	26,635
投資有価証券評価損益(△は益)	86,001	1,450,690
投資有価証券売却損益(△は益)	△28,490	△52,387
関係会社株式売却益	—	△268,666
売上債権の増減額(△は増加)	△1,066,069	1,008,982
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,735	10,579
暗号資産の増減額(△は増加)	—	861,200
前渡金の増減額(△は増加)	27,740	—
前払費用の増減額(△は増加)	4,721	△6,739
未収入金の増減額(△は増加)	△8,898	94,235
未収収益の増減額(△は増加)	△6,569	3,509
仕入債務の増減額(△は減少)	59,914	△41,241
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△55,795	25,620
未払消費税等の増減額(△は減少)	14,347	△9,535
前受金の増減額(△は減少)	3,386	27,059
預り金の増減額(△は減少)	8,335	△14,206
前受収益の増減額(△は減少)	—	△61,902
トレーディング商品の増減額(△は増加)	△13,840	4,028
短期差入保証金の増減額(△は増加)	△128,101	△73,208
支払差金勘定の増減額(△は増加)	23,975	△73,080
預託金の増減額(△は増加)	△95,000	△168,592
預り金及び受入保証金の増減額(△は減少)	177,965	252,065
金融商品取引責任準備金の増減額(△は減少)	△279	480
商品取引責任準備金の増減額(△は減少)	△1,407	4,565
顧客からの預り金の増減額(△は減少)	—	△54,773
顧客からの預り暗号資産(負債)の増減額(△は減少)	—	△795,340
その他	48,525	△59,784
小計	189,889	875,077

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
利息及び配当金の受取額	3,529	107
利息の支払額	△4,031	△5,103
法人税等の支払額	△113,005	△24,240
法人税等の還付額	5,995	19,098
営業活動によるキャッシュ・フロー	82,375	864,939
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,666	△200,000
有形固定資産の取得による支出	△93,496	△229,002
有形固定資産の除却による支出	△510	△580
有形固定資産の売却による収入	—	44,200
無形固定資産の取得による支出	△2,452,924	△107,306
投資有価証券の取得による支出	△184,926	△1,530,542
投資有価証券の売却による収入	34,676	237,848
関係会社株式の取得による支出	—	△260,000
短期貸付けによる支出	—	△160,800
短期貸付金の回収による収入	60,000	—
長期貸付けによる支出	△215,000	—
長期貸付金の回収による収入	2,347	801
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	107,732	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△247,356	—
連結の範囲の変更を伴う子会社への出資による支出	△600,974	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	417,141
差入保証金の差入による支出	△1,969	△164,953
差入保証金の回収による収入	—	86,761
保険積立金の積立による支出	△2,135	△2,135
保険積立金の解約による収入	—	11,798
事業譲受による支出	—	△38,436
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,597,203	△1,895,206
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	966,000	450,000
短期借入金の返済による支出	△566,000	△454,959
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△17,400	△25,850
株式の発行による収入	538,717	163,020
非支配株主からの払込みによる収入	—	49,145
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△2,468
新株予約権の発行による収入	30,752	4,282
新株予約権の買入消却による支出	△7,544	△5,448
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	4,999,969	2,658,313
転換社債型新株予約権付社債の買入消却による支出	△2,249,989	△2,658,314
配当金の支払額	△64,816	△22,443
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,629,689	255,278
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35,240	631
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	79,622	△774,356
現金及び現金同等物の期首残高	1,578,700	1,658,322
現金及び現金同等物の期末残高	1,658,322	883,966

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

### 1 報告セグメントの概要

#### (1) セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、①Q&Aコミュニティの運営・管理とQ&Aコミュニティのノウハウをもとに企業向けにシステムの提供やコンサルティングを行う「ソリューション事業」、②株式会社ブリックスの事業であり、24時間365日体制で多言語(現在は英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語)のコンタクトセンターを運営する「インバウンド・ソリューション事業」、③ブロックチェーン・ベースのシステム開発を行うグループ会社OK BLOCKCHAIN CENTRE SDN. BHD. や金融関連の子会社株式会社LastRootsが行う事業を「フィンテック事業」とし、計3つを報告セグメントとしております。

#### (2) 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、当連結会計年度より事業区分を見直し、報告セグメントを従来の「コンシューマー・サービス事業」、「エンタープライズ・ソリューション事業」、「インバウンド・ソリューション事業」及び「フィンテック事業」の4区分から、「ソリューション事業」、「インバウンド・ソリューション事業」及び「フィンテック事業」の3区分に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

報告セグメント	サービスの種類
ソリューション事業	OKBIZ.、OKBIZ. for Community Support、OKBIZ. for AI Chatbot、OKWAVE、Davia、OKWAVE PROFESSIONAL.、OKWAVE GRATICA
インバウンド・ソリューション事業	多言語コンタクトセンター
フィンテック事業	ブロックチェーンを基礎としたシステムの受託開発、金融商品の販売等

### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1、 2、4	連結財務諸表 計上額 (注)3
	ソリューション事業	インバウンド・ソリューション事業	フィンテック事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,960,454	846,268	2,085,636	4,892,359	—	4,892,359
セグメント間の内部売上高又は振替高	45,056	1,954	—	47,011	△47,011	—
計	2,005,510	848,222	2,085,636	4,939,370	△47,011	4,892,359
セグメント利益	463,561	209,581	1,641,605	2,314,748	△1,243,551	1,071,197
セグメント資産	429,176	239,885	9,293,535	9,962,597	2,706,313	12,668,910
その他の項目						
減価償却費	67,019	2,882	39,921	109,822	61,732	171,554
のれんの償却額	—	—	77,346	77,346	—	77,346
のれんの未償却残高	—	—	766,088	766,088	—	766,088
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	103,452	5,538	2,283,688	2,392,679	134,235	2,526,914

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
2. セグメント資産の調整額は、主に提出会社の余資運用資金（現金及び預金）及び管理部門等に係る資産であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、管理部門等に係る資産の増加額であります。



当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1、 2、4	連結財務諸表 計上額 (注)3
	ソリューション事業	インバウンド・ソリューション事業	フィンテック事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,305,410	934,044	1,556,063	4,795,518	—	4,795,518
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,254	724	229	8,208	△8,208	—
計	2,312,664	934,769	1,556,292	4,803,726	△8,208	4,795,518
セグメント利益又はセグメント損失(△)	583,616	162,115	△327,277	418,453	△1,345,067	△926,613
セグメント資産	492,711	—	3,507,043	3,999,754	1,671,708	5,671,462
その他の項目						
減価償却費	69,137	6,959	228,957	305,053	58,299	363,352
のれんの償却額	—	3,843	144,292	148,136	—	148,136
のれんの未償却残高	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	95,499	23,504	1,059	120,064	244,639	364,703

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
2. セグメント資産の調整額は、主に提出会社の余資運用資金(現金及び預金)及び管理部門等に係る資産であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、管理部門等に係る資産の増加額であります。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア	北米	合計
2,911,551	1,939,906	40,900	4,892,359

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	アジア	合計
110,273	22,955	133,229

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Wowoo Pte. Ltd.	1,814,297	フィンテック事業 ソリューション事業

当連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア	北米	合計
3,688,762	1,077,400	29,355	4,795,518

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Xinhua Mobile Limited	1,077,400	フィンテック事業

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度（自 2018年7月1日 至 2019年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	ソリューション事業	インバウンド・ソリューション事業	フィンテック事業	計		
減損損失	—	—	11,071	11,071	8,659	19,730

当連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	ソリューション事業	インバウンド・ソリューション事業	フィンテック事業	計		
減損損失	—	—	791,467	791,467	783	792,251

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり純資産額	407円 57銭	102円 62銭
1株当たり当期純利益金額又は1株 当たり当期純損失金額(△)	70円 44銭	△323円 55銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	69円 73銭	—

当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(注) 1 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	3,774,852	1,008,530
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	76,855	31,589
(うち新株予約権)	(25,494)	(20,743)
(うち非支配株主持分)	(51,360)	(10,845)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,697,996	976,941
期末の普通株式の数(株)	9,073,214	9,519,832

(注) 2 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期 純損失額(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純 損失(△)(千円)	629,437	△2,952,254
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	629,437	△2,952,254
期中平均株式数(株)	8,935,553	9,124,500
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	91,599	—
(うち新株予約権)	(91,599)	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった 潜在株式の概要	2019年5月21日開催の取締役 会決議による第17回新株 予約権 新株予約権の数 10,120個 (普通株式 1,012,000株)  2,019年5月21日開催の取 締役会決議による第18回新 株予約権 新株予約権の数 1,202個 (普通株式 120,200株)	—

(重要な後発事象)

期末日以降、2020年6月15日に発行した第19回新株予約権（行使価額修正条項付）及び第3回無担保転換社債型新株予約権付社債（転換価額修正条項付）の行使がありました。

これにより、以下のとおり、発行済株式総数、資本金等が増加しております。

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年7月1日～ 2020年8月31日	894,877	10,414,795	175,217	1,570,936	175,217	581,154